

# 景況レポート・2月

## 2月の県内景況は、全体として前月から悪化の傾向。

情報連絡員による平成25年2月の県内中小企業の景況は、業界全体として「低調」とするところが44.1%（前月比+2.0）、「横這い」は30.5%（同-2.8）、「好況」は25.4%（同+0.9）となっており、業界全体の「景況感DI」は-18.6（同-1.1）と悪化しています。

### 1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

- ◇「売上高」「資金繰り」がプラスのDI値に転じ、「雇用人員」がマイナスのDI値に転じました。
- ◇「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」が前月と比較して上昇しています。前月比で「売上高」は12.1%上昇、「資金繰り」は15.7%上昇しています。

### 2. 業種別の「業界の景況」

- ◇前年同月と比較して、木材木製品製造業、その他の製造業、建設業は「快晴」または「晴れ」、小売業、サービス業は「曇り」、その他の業種は「雨」または「大雨」となっています。
- ※DI値 +30以上「快晴」 +10～+30未満「晴れ」 -10～+10未満「薄曇り」  
-30～-10未満「曇り」 -50～-30未満「雨」 -50以上「大雨」

### 3. 個別の報告の概要

- ◇大雪や寒さの影響について、商店街、旅館業、理容業などから報告があります。
- ◇原油高騰の影響について、石油業、トラック運送業などから報告があります。

来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が27.1%（前月比+6.0）と増加しております（好転の回答2件、やや好転の回答14件）（製造業9、非製造業7）。一方、やや悪化、悪化の見込みは、13.6%（前月比-3.9）と減少しております。変わらないが、59.3%（前月比-2.1）とわずかですが減少しております。

平成25年2月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率98.3%）

### 木材・木製品製造業

#### <製材業>

一部に復興住宅需要が出始め、製材製品市況に好転が見られてきている。それを受け丸太の引き合いは活発であるが、例年に比べ出材量が多いことから丸太価格への反応は鈍く小幅な値上げにとどまっている。

#### <外材輸入>

各組合員の操業度は上昇、販売価格も輸入コストの上昇と国内流通在庫の不足感から上昇している。国内の製材品需要は堅調に推移しているが、今後、原材料の輸入コストは更に上昇することから、製品価格に転嫁できるかが課題である。

### 鉄鋼・金属・一般機械製造業

#### <鉄鋼（郡山地区）>

土木関係は大変忙しいが、鉄工も少しずつ仕事量も増えそうである。しかし、職人を集めようとしてもなかなか集まらなくなっている。

#### <電子工業>

雇用調整助成金の教育訓練を延べ138日実施し、その他49日の調整体で対応しており、引き続き厳しい状況である。

### 精密機械製造

#### <精密機械>

2月度は雇用調整助成金を2回利用した企業もありました。

### 繊維・同製品製造業

#### <ニット>

今月は並の推移であった。3月は展示会見本が本格的になり忙しくなるが、売上に結びつくか心配なところである。

#### <縫製品>

本格的な夏物の生産時期に入り、操業度も上向き、売上高も増加してきた。しかし取扱品種によってはやや悪化している所もみられる。

### 紙・紙加工品製造業

#### <紙器段ボール箱>

全国段ボール工業組合連合会によれば、段ボール需要は2013年度予測の平均値がプラス1.3%となっている。平成25年度は徐々に世界経済が底入れし、年度後半の消費税増税等の駆け込み需要も含まれた予測となっているが駆け込み需要は年内にさほど期待できないとみている。期間別の内訳を見ると、1～3月99.5%、4～9月100.7%、10～12月101.0%と予測している。当業界はこのような状況の中で昨年の段ボールシートや板紙が値上げする一方で、我々業界に製品の値上げは浸透せず、ボックスメーカーとして経営の効率化、製品コスト削減、付加価値商品の開発など引き続き競争力を強化して消費改善を図る必要に迫られている。

### 窯業・土石製品製造業

#### <陶磁器>

役員に欠員が出た。冬場は売上げが大幅に落ち込むが、その中で数十万ではあるが、展示会での売上げがあった。

#### <砕石>（県北地区）

1. 当月売上高の前月比 約37%増
2. 当月売上高の前年同月比 約88%増
3. 全数量の前年同月比 約80%増
4. 原因・状況 県北地区の放射能除染工事と災害復旧工事等で増となっている。

#### <生コン>

平成25年2月の組合員生コン出荷数量は、137,990㎥と対前年同月比23.1%の増。東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等補修工事での増加が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比10.8%の増、官公需が37.7%の増と、民需、官公需共に増加した。

#### ■民需の動向

前年同月比 10.8%の増

##### ①前年同月比増加地区

<白河地区> 26.9%の増

工場、店舗新築工事等

<相双地区> 212.0%の増

原発保安対策工事、常磐道工事等

##### ②前年同月比減少地区

<県北地区> 28.0%の減

常磐銀行福島支店新築建築工事等

<県中地区> 12.5%の減

南東北新生病院工事、新ポラリス保険看護学院移転新築工事等

<いわき地区> 1.4%の減

小名浜精錬所工事等

<会津地区> 19.0%の減

病院改築工事等

#### ■官公需の動向

前年同月比 37.7%の増

##### ①前年同月比増加地区

<県北地区> 24.5%の増

栗子トンネル工事、保原高校改築工事等

<県中地区> 23.9%の増

本宮二中新築工事、道路橋梁整備落合橋下部工等

<白河地区> 23.4%の増

白河旭高校工事、道路橋梁整備落合橋下部工等

<いわき地区> 81.2%の増

小名浜港7号埠頭地区岸壁復旧工事、西防波堤地区災害復旧工事等

<相双地区> 43.9%の増

海岸保全施設整備工事、相馬港災害復旧工事等

<会津地区> 1.4%の増

只見地区道路、橋梁復旧工事等

### 食品製造業

#### <豆腐油揚>

アベノミクスによって物価上昇期待が生まれたが速やかな結果を出さなければ、輸入品目の急激な上昇により、国内産業特に国内消費を主とする食品業界などには厳しい試練になる。対策がなければ燃料費の急騰、輸入原料の高止まりが続いている現状で反発が出る。TPPははやく批准すべき。国産大豆は23年産に比べ24年産は高温などの不作により大幅上昇（3割位の上昇）になっている。今年は影響が必要であり、TPPによる海外産穀物の自由化は待たなし。

#### <味噌醤油>

昨年比1月・2月共に低調。出荷量も味噌、醤油いずれも減少している。主原料の大豆、小麦などが高騰する予想情報が流れている。国内産加工米が不足しており、海外産（MA米）に依存の傾向があり、製造コストアップで経営状況は厳しい。今後も組合員全体が今も続く風評被害と主原料の価格上昇に苦慮される懸念を抱えそうである。

#### <酒造>

全体的にあまり良くないが、NHKドラマの影響が出てきている。八重の桜関連商品の売上げは好調で今後も伸びるだろう（出荷制限の商品も出ている）。

#### <食品団地>

A重油の仕入価格の上昇が止まらず毎月上昇している。

### 小売業

#### <共同店舗>

（浜通り地区のOショッピングセンター）  
売上高（前年同月比4.1%の増）、客数（同13.3%の増）とも前年を上回った。2月初めの「のみの市」、月末に実施した「5倍ポイントセール」が好調であったことが、前年を上回った大きな要因であった。中でも、「5倍ポイントセール」に関しては、初めて、全会員へDMを送付、その効果があり、予想以上の成果に繋がった。

（県中地区のNショッピングセンター）  
大型店の出店、発電事業等の新規事業により、大きな変化の波が出始めている。今後10年をとりあえずの落とし所として今後の展開を考える必要がある。

#### <石油>

円安と原油高により元売仕切価格が大幅に上昇した。これにより小売価格も上昇したものの、元売仕切価格の上昇分の転嫁には至っておらず、利益が圧縮され厳しい経営状況となっている。

#### <青果>

前月より価格の高騰が続いている。前年と比べると積雪量も多く、低温が続いているための価格の高騰。取引額（売上高）の増加も考えられたが、品物自体が動かなかった。消費者が寒空の中、歩いて小売店に行くことがなく、車での量販店を利用する方が多かったとみている。来月は雪解けからの放射能災害が少ないことを願っている。

#### <電機>

家電販売業界は全体として低調である。一部太陽光発電を積極的に手がけている販売店は好転しているが、ほんの一部である。これから春の合同展示、個展などで少し良くなるかと思うがあまり期待できない。

サービス業

**<旅館業>**  
(湯本温泉)  
復興作業員の人数は減少しつつあります。一般観光客はまだまだ少ない状態。春休みに期待しています。

(土湯温泉)  
天候の悪い日が多く、観光の入れ込みにも影響が出た。平日などは閑散な日が多く見られた。特に業況の変化は見られない。株価上昇などで景気は上向いているものの末端消費でのガソリンや灯油の値上りは収益に影響を及ぼしている。

**<理容業>**  
2月は寒い日が多く全般的に閑であった。週末のたびに雪が降り客足は鈍かった。暮れに調整したお客様が来店する頃なので期待していたが大きく下回った。その分3月に期待している。卒業、進学、就職の時期でもあるのでフレッシュなスタイルを提案し元気づけたい。

**<廃棄物収集運搬業>**  
災害関連事業が引き続きあり、現状ウエイトは大きいです。地元事業者も再開している所もあり、今後の事業については見込める予定です。

**<旅行業>**  
東日本大震災から2年が経ち震災の影響は少なくなってきたかと思われたが、復興支援を意識した旅行が収まってきたことや寒波、大雪などの影響も重なり前年に比べ減少した。

建設業

**<建設業>**  
(県南地区)  
震災復旧工事の受注が一段落している。除染業務の受注が伸びているが、積雪のため手を付けられない。3月から本格的に除染が始まるが、作業員及び機材の不足が見込まれる。

**<管工事>**  
給水・排水設備申請とも前月比では増加。前年同月累計対比では、給水設備申請は減少し、排水設備申請は増加した。

**<専門工事>**  
例年にない荒天で業務に支障が出ている。公共事業に財政支出があること自体はありがたいが、実労働力の確保等、現実的にかみ合わない状態への対応も必要と感じる。

運輸業

**<トラック運送>** (県北地区)  
原油の高騰や物価高不安材料は多い。利子補給などのふくしま復興特別資金制度のような金融対策を講じて欲しい。

**<トラック運送>** (県中地区)  
ここ半年で燃料費が8円高くなっており非常に苦しい経営を強いられています。

**<ハイヤータクシー>**  
前月比微増ではあったが、前年比減は続いており厳しい状況。

卸売業

**<卸売業>**  
(県中地区)  
景気回復の期待感から幾分明るさを取り戻しつつある。今まで鈍かった高額商品の売れ行きも幾分上昇傾向にある。一方で、ガソリン等の燃料費や一部商材が値上がり基調にあり懸念している。価格転嫁が難しいのが現状。また、人材不足は業種によってばらつきがあるが、先月よりも進んだ感がある。

**<再生資源>**  
今年は雪と寒さの日が例年より続きすぎます。北国ほどではないものの、全てが寒さで凍えている。早く春が来ると良いと思う。それにしても相変わらず福島は状況は変わらず、放射能(原発の撤去)がなくなる限りじわりじわりと縮んできています。とにかく活気がなくなっているのを前年の経験から肌で感じている毎日です。この状況が10年、20年と続けばいつかは破綻の道と迎えるのではないのでしょうか。除染した水(何十万トン)を将来どこでどう処分されるのでしょうか。

商店街

**<福島市>**  
寒く、また雪が降る日が多く人出がない。震災より2年が経つが、古い家屋、店舗の解体の順番が回ってきたのか目立って多くなってきた。今月も全体的に低調のままである。

**<郡山市>**  
1月ほどではないが、今月もやや微減でした。月極め以外はほぼ前年並みであったが、なぜか月極だけが減少して、それが全体の減少になった。通常利用のお客様は戻った感じなので、商店街の集客は前年同様でした。2月はうすい百貨店で北海道物産展が始まり3月上旬まで行います。2年前この物産展の期間中に震災があり、始まる度に思い出されます。風評被害はまだなくなっていないが、会津地方を中心に観光に賑わいがでてきており、このまま盛り上がっていかればと思います。

**<南相馬市>**  
街再生の将来が描けないものの、短期・中期計画、目標等を立てるため、商店街構造改革調査・分析事業を活用し取り組んでいます。今月中の事業ということもあり組合員全員が忙しい思いをしながら計画案道に生かしていきたいです。

**<会津若松市>**  
大雪の影響で人通りの少ない日があったが、売上としては並であった。

**<いわき市>**  
寒い日が続く、冬物衣料など季節物が売れ、売上に寄与した模様。ただ中盤以降寒さ激しく春物への気持ちも移らず、まちなかの人出は鈍かった。強い北風と寒さに弱い商店街、暑くても寒くても人出が鈍る、何とか打開できないものか。今は早く暖かい日が続くことを願うばかり。

景況天気図 2月

天気図の見方

各景況項目について「増加」(または「好転」)業種割合から「減少」(または「悪化」)業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は右表のとおりである。

D・I値基準値

☀ 快晴 30以上	☁ 曇り -30~-10未満
☀ 晴 10~30未満	☔ 雨 -50~-30未満
☁ うす曇り -10~10未満	☔ 大雨 -50未満

項目別DI業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食品製造	-28.57	-28.57	0.00	0.00	-57.14	-28.57	-28.57	-14.29	-14.29	-14.29	-57.14	-28.57
繊維製品製造	66.67	66.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-33.33
木材製品製造	50.00	50.00	50.00	25.00	50.00	25.00	25.00	50.00	0.00	0.00	50.00	50.00
鉄工機械製造	-50.00	-75.00	0.00	-25.00	-50.00	-75.00	-25.00	-50.00	-25.00	-25.00	-50.00	-75.00
その他の製造	57.14	57.14	14.29	28.57	14.29	14.29	0.00	14.29	0.00	14.29	28.57	42.86
卸売業	-25.00	-50.00	-50.00	-50.00	-75.00	-75.00	-25.00	-25.00	0.00	0.00	-50.00	-75.00
小売業	11.11	22.22	44.44	44.44	11.11	-11.11	11.11	22.22	-11.11	-22.22	0.00	-22.22
商店街	-16.67	-16.67	-33.33	-33.33	-33.33	-16.67	-16.67	-16.67	-16.67	-16.67	-33.33	-16.67
サービス業	-28.57	-14.29	0.00	0.00	-28.57	0.00	14.29	14.29	14.29	14.29	0.00	0.00
建設業	20.00	100.00	0.00	20.00	20.00	40.00	20.00	60.00	20.00	60.00	20.00	60.00
運輸業	0.00	-66.67	0.00	0.00	-33.33	-66.67	-33.33	-66.67	0.00	-66.67	-33.33	-66.67

中央会トピックス

福島県中小企業団体中央会 平成25年度通常総会開催のご案内

- 開催日時 平成25年6月3日(月) 13:30~(予定)
- 開催場所 福島市 福島グリーンパレス
- 内容 優良組合、組合功労者、組合優良職員等の表彰  
平成24年度事業報告、収支決算の承認について  
平成25年度事業計画、収支予算の決定について 等

※開催日時については現在の予定です。総会開催のご案内は、改めて文書にて通知させていただきますので、ご承知置き願います。

※平成25年度通常総会における表彰について、現在、組合功労者及び組合優良職員の表彰に係る組合からの推薦を受け付けております。

締切は4月5日(金)となっておりますので、推薦を予定されている場合は、お早めの提出をお願いいたします。

表彰の基準、その他表彰に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

福島県中央会 総務課 TEL:024-536-1261 FAX:024-536-1217